

小学校 道徳 部会

部会長名 落合小学校 校長 中村 英子

実践者名 赤小学校 教諭 持丸修一郎

1 研究主題

「よりよい生き方を追求しようとする子どもを育てる道徳学習指導
～地域に根ざした自作資料を用いた複数時間構成の工夫を通して～」

2 主題設定の理由

(1) 社会の変化や要請から

近年、モラルの低下やいじめなどが社会問題となっている。このため道徳教育でも、人とのつながりや、家族や地域、人やものなどの大切さを考えさせるような経験や体験を繰り返し積ませることが求められている。そこで、身近に生活する人たちがどのような願いを持ち、どんな努力をしてきたのかを学び、その思いに触れさせることで道徳的価値を自覚させ、よりよい生き方につなげたいと考えた。

(2) 児童の実態から

本学級で行ったアンケート調査によると、学習内容について自分自身を振り返って考えようとする意識は高くないこと、自分の考え方の変容や向上を意識したり、学習したことをいつもの生活にいかしたいと感じた経験は、多くないことがわかった。このため、児童が追求する道徳的価値を自身に関わることとして捉え、深まった考え方をよりよい生き方にいかしたいと思えるような学習が必要であると考えた。

(3) 指導の反省から

これまでの学習を振り返ると、課題意識を持たせるための資料の工夫や、重要な価値がはっきりしない板書や説話など、課題が多かった。そのために児童は、学習を通して何を考え、自分の考えの何が変わり、何が大切なことなのかを十分意識できなかったと考える。そこで、関心を高める教材の工夫、問題意識を高める工夫、実践意欲を高める終末の在り方の工夫をすることが大切であると考え、本主題を設定した。

3 主題の意味

(1) よりよい生き方を追求しようとする子どもとは

「よりよい生き方」とは、学んだ道徳的価値をもとに主体的に自己を見つめ直し、改善したり伸ばしたりして高まろうとする生き方のことである。そして、「よりよい生き方を追求しようとする子ども」とは、身の周りにいる人やもの問題やよさを知ることを通して、それまでの自分の行動や価値観に照らしてどうすることがよいことなのかを考え、判断し、よりよい生き方をしたいと願うとともに、獲得した道徳的価値にもとづいて行動しようとする子どものことである。

(2) 地域に根ざした自作資料を用いた複数時間構成の工夫とは

「地域に根ざした自作資料」とは、児童の関心を高め、生活経験を振り返りやすくするための地域の人や物を題材にした道徳の教材のことである。

「複数時間構成の工夫」とは、一つの資料を2時間で指導し、資料に含まれる内容について順序を考えたり、一部を関連させたりして、児童に道徳的価値をより深く自覚させる工夫のことである。

4 研究の目標

よりよい生き方を追求しようとする子どもを育てる道徳学習において子どもに課題意識や道徳的実践意欲を持たせるため地域教材を用いた有効な指導方法を明らかにする。

5 研究仮説

地域の人やものについての自作資料を用い、興味・関心を高める導入や効果的な終末を工夫する。その上で、関連する道徳的価値について学習を深れば、道徳的価値の自覚が強化され、学んだことをよりよい生き方に生かしたいと考える子どもが育つであろう。

6 研究の内容

(1) 自作資料の工夫

学習指導要領道徳編第4節3の資料選定の要件に加え、以下の点を踏まえ作成する。

- ア. 児童に身近な地域の人やものをもとにした資料
- イ. 主人公の過去の葛藤や悩みに加え、それらに共感できる資料
- ウ. 追求する複数の道徳的価値が含まれている資料

(2) 問題意識を高める働きかけ

主題に関わる問題意識を持たせるため、導入段階や展開前段において写真や映像・感想・実態調査等の資料を提示し、本時の主題に対する児童の興味・関心を高める。

(3) 実践意欲を高める終末の工夫

学んだことを心に留め今後の行動に生かせるようにするために、終末を、説話、ゲストティーチャーの話、授業の感想などを用い、効果的な方法を工夫する。

(4) 2時間構成の学習において関連する内容項目をつなぐ工夫

- 児童の感想の整理
- 自作資料の主人公の聞き取り
- 関連する内容項目の吟味

7 研究の計画

【検証授業Ⅰ】 資料名「横断歩道に立つ人たち」

主題	感謝する心で 内容項目 [中2-(4)]	相手のことを考えた礼儀 内容項目 [中2-(1)]
月	第1時 平成24年6月	第2時 平成24年7月
ね ら い	・横断歩道に立つ人の思いに気づき、尊敬と感謝の念を持って接しようとする意欲を育てる。	・挨拶の意味やよさを考え、進んで気持ちよく挨拶をしようとする態度を育てる。
意 識	私たちが大切に思い、支えてくれている人たちがいるんだ。 →	私たちが元気に過ごせるのは支えてくれる人たちがいるからなんだ。 →
		横断歩道に立つ人やお世話になっている人たちに、挨拶をしていきたい。

【検証授業Ⅱ】 資料名「ホテルの輝きをいつまでも」

主題	最後までやりとげる 内容項目 [中1-(2)]	自然を大切に 内容項目 [中3-(2)]
月	第1時 平成24年9月	第2時 平成24年9月
ね ら い	・蛍を守る取り組みをする人の思いを考え、粘り強く努力しようとする意欲を育てる。	・豊かな自然と蛍の関係に気づき、自然を大切にしようとする意欲を育てる。
意 識	赤村の蛍を守るために色んなことに努力し続けている人たちがいるんだ。 →	自分で目標を持ち、諦めずに努力し続けることで夢はかなうんだ。 →
		赤村の自然を守るためにこれから自分も何かできることをしていきたい。

8 指導の実際

(1) 検証授業 I

時	学 習 活 動	児 童 の 反 応										
第一時	<p>1. 毎朝横断歩道に立っている人について知っていることを発表する。</p> <p>2. 中心資料「横断歩道に立つ人たち」の範読を聞き、話し合う。</p> <p>(1) 知り合いに頼まれて横断歩道に立ち始めた橋本さんの気持ちを考える。</p> <p>横断歩道に立ち始めたとき、橋本さんは、どんなことを考えていたでしょう。</p> <p>(2) 危険な目にあったり、心ない言葉をかけられたりしたときの橋本さんの気持ちを考える。</p> <p>車にぶつかりそうになったり、ひどい言葉を言われりしたとき、橋本さんはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>(3) 横断歩道に立ち続けるうちに変わった橋本さんの気持ちを考える。</p> <p>横断歩道に立ち続けるうちに橋本さんは、どんな気持ちに変わったでしょう。</p> <p>4. 学習をふりかえり、まとめる。</p>	<p>C:朝、横断歩道に立っている人。</p> <p>C:車を止まらせる人。橋本さん。</p> <p>C:めんどくさい。</p> <p>C:頼まれたから仕方ない。</p> <p>C:あぶない。</p> <p>C:もうやめたい。</p> <p>C:事故が起きないようにしなければいけない。</p> <p>C:みんなに元気でいてほしい。</p> <p>C:みんなの命を守るために頑張る。</p>										
第二時	<p>1. 前時の感想を交流する。</p> <p>なぜ、横断歩道に立ち続ける橋本さんたちに挨拶をしたいと思った人が多かったのでしょうか。</p> <p>2. 中心資料「横断歩道に立つ人たち」をふり返り、話し合う。</p> <p>(1) 挨拶をすることでどんな気持ちを伝えることができるのかを考える。</p> <p>挨拶をすると、橋本さんたちにどんな気持ちを伝えることになるでしょう。</p> <p>(2) 挨拶をされる橋本さんたちの気持ちと挨拶の良さを考える。</p> <p>挨拶をされた橋本さんは、どんな気持ちになったでしょう。</p> <p>3. これまでの自分をふり返る。</p> <p>挨拶をして気持ちよくなった経験はありますか。</p> <p>4. G T (本校校長)の話の聞き、まとめる。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">第1時の感想 対象児童18名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>横断歩道に立ち続けていることを尊敬したり称えたりしているもの。</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>感謝の気持ちを言葉や挨拶を伝えたいというもの。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>横断歩道に立ち続けることを尊敬したり称えたりし、感謝の気持ちを言葉や挨拶で伝えていきたいというもの。</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>登場人物のような思いやりを持った人になりたいというもの。</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1時の感想で、挨拶について記述しているものを中心に第2時に活用する。</p> <p>C:お礼の気持ち。</p> <p>C:やさしさ。</p> <p>C:ありがとうということ。</p> <p>C:立っていて良かった。</p> <p>C:お互いが気持ちいい。</p> <p>C:頑張ってみみんなを笑顔にしよう。</p> <p>C:元気をもらって相手を大切にしたいと思っている。</p> <p>C:朝校長先生に挨拶して褒められたとき。</p>	第1時の感想 対象児童18名		横断歩道に立ち続けていることを尊敬したり称えたりしているもの。	6	感謝の気持ちを言葉や挨拶を伝えたいというもの。	2	横断歩道に立ち続けることを尊敬したり称えたりし、感謝の気持ちを言葉や挨拶で伝えていきたいというもの。	9	登場人物のような思いやりを持った人になりたいというもの。	1
第1時の感想 対象児童18名												
横断歩道に立ち続けていることを尊敬したり称えたりしているもの。	6											
感謝の気持ちを言葉や挨拶を伝えたいというもの。	2											
横断歩道に立ち続けることを尊敬したり称えたりし、感謝の気持ちを言葉や挨拶で伝えていきたいというもの。	9											
登場人物のような思いやりを持った人になりたいというもの。	1											

(2) 検証授業Ⅱ

時	学 習 活 動	児 童 の 反 応												
第一時	<p>1. 頑張った経験やあきらめてしまった経験について発表し合う。</p> <p>頑張っていることをあきらめてしまったとき、どんな気持ちになりましたか。</p> <p>2. 中心資料「ホタルの輝きをいつまでも」前半の範読を聞き、話し合う。</p> <p>(1) 蛍を守る活動で大変なことを考える。</p> <p>どの活動をしていたときが一番大変だったでしょう。</p> <p>(2) 活動を続ける小川さんの気持ちについて話し合う。</p> <p>どんな気持ちで小川さんは蛍を増やす活動を続けたのでしょうか。</p> <p>3. 自分の心にある「努力し続ける心」について見つめ直す。</p> <p>努力し続けてよかったと感じたことを振り返ってみましょう。</p> <p>4. 学習を振り返り、まとめる。</p>	<p>C:野球。スイミング…。</p> <p>C:何か悲しい気持ち。</p> <p>C:きつかったからいいと思った。</p> <p>C:配って回ること。</p> <p>C:雨のあとの泥運びが大変そう。</p> <p>C:一軒一軒回るのが大変そう。</p> <p>C:全部大変と思う。</p> <p>C:きついけど、蛍が見たい。</p> <p>C:早く増やしたい。</p> <p>C:あきらめないでがんばる。</p> <p>C:きっとできる。</p>												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>第1時の感想</th> <th>対象児童18名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蛍の会の人の努力を賞賛するもの。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>努力の大切さ・夢に向かって努力していきたいというもの。</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>蛍の会の人の努力を賞賛し、夢に向かって努力していきたいというもの。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>蛍の会の人のことを賞賛し、生き物や自然を大切にしていきたいというもの。</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>学習して知らないことがたくさんあった。知ることできてよかったというもの。</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	第1時の感想	対象児童18名	蛍の会の人の努力を賞賛するもの。	3	努力の大切さ・夢に向かって努力していきたいというもの。	6	蛍の会の人の努力を賞賛し、夢に向かって努力していきたいというもの。	3	蛍の会の人のことを賞賛し、生き物や自然を大切にしていきたいというもの。	5	学習して知らないことがたくさんあった。知ることできてよかったというもの。	1
第1時の感想	対象児童18名													
蛍の会の人の努力を賞賛するもの。	3													
努力の大切さ・夢に向かって努力していきたいというもの。	6													
蛍の会の人の努力を賞賛し、夢に向かって努力していきたいというもの。	3													
蛍の会の人のことを賞賛し、生き物や自然を大切にしていきたいというもの。	5													
学習して知らないことがたくさんあった。知ることできてよかったというもの。	1													
第二時	<p>1. 前時の感想を交流する。</p> <p>赤村にたくさんの蛍が飛んでいるのを見るとどんな気持ちになりますか。</p> <p>2. 中心資料「ホタルの輝きをいつまでも」の後半の範読を聞き、話し合う。</p> <p>(1) 増えた蛍がいなくなったときの小川さんの気持ちについて考える。</p> <p>蛍がいなくなったとき、小川さんはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>(2) 蛍を取る人に呼びかけをする小川さんの気持ちについて話し合う。</p> <p>小川さんはどんなことを考え、「蛍をとらないで」と呼びかけたのでしょうか。</p> <p>3. 「自然や生き物を大切にしたい」という思いを見つめ直す。</p> <p>自然や生き物を守るためにしていることや考えていることはありますか。</p> <p>4. G T (小川さん)の話聞き、学習をまとめる。</p>	<p>自然愛護・生命尊重の視点で記述しているものを中心に第2時に活用する。</p> <p>C:悲しい。</p> <p>C:何でいなくなったのかな。</p> <p>C:やっと元に戻ったのにとられると悲しい。</p> <p>C:たくさんの人に見てほしい。</p> <p>C:赤村の蛍や自然をみんなに残す。</p> <p>C:ビンや缶を道に捨てない。</p> <p>C:たばことか拾っている。</p> <p>C:蛍を捕まえないようにしてる。</p> <p>C:水を無駄遣いしないようにしています。</p>												

9 研究のまとめ

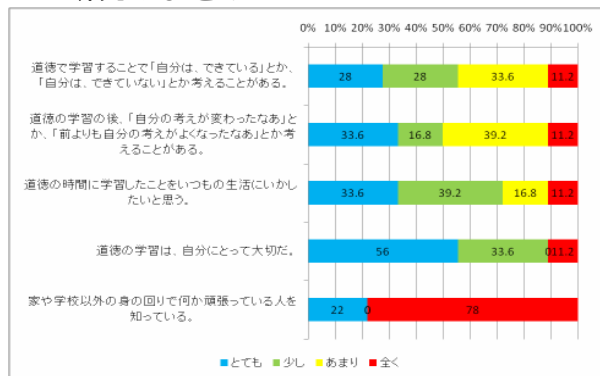


図-1 児童の意識(検証授業前)

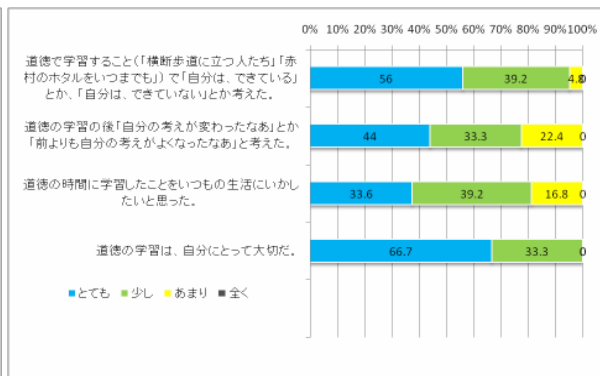


図-2 児童の意識(検証授業 I・II 終了後)

図-1 から図-2 への変容を見ると、自分自身を振り返って考えようとした児童の割合が高くなっていることがわかる。このことから児童に身近な自作資料の活用は、児童の関心を高め、道徳的価値の主體的自覚を図る上で有効な方法になり得ると考える。また、第1時と第2時をつなぐために、第1時の感想を第2時で交流したときには人の感想を集中して聞く児童が多かった。そして第2時の道徳的価値に重なるものに絞って感想を紹介することで、第2時に考える道徳的価値にスムーズに児童の意識をつなげる効果があることがわかった。児童の感想からは、検証授業 I・II のそれぞれにおいて、これまでの自分を振り返って今後どうしていきたいかを記述しているものが多く見られた。また、第一時に考えた道徳的価値や主人公への思いを踏まえて第二時の感想を書いている児童もおり、2時間で内容を関連させて学習することは、道徳的価値の自覚のために有効な方法であることがわかった。

	A児	B児	C児
第1時	この人たちのことを知りませんでした。やさしい人たちだなと思いました。いつもおじちゃんたちに「ありがとうございました。」と言うんですけどそれだけでは足りないと思います。	私なら知らない人や他人に5年間や2年間みんなのためにできないと思いました。いつも黄色のはたを持って大きな声で私がときどき元気がないときも、その大きな声で元気やゆわが出来ます。	とてもみんなを守っていることに感動しました。自分の命だけでなく小学校のみんなを5年間も守っていることは本当にすごいと思いました。
第2時	今まであいさつをきちんとしていなかったからこれからは、ちゃんとあいさつをしようと思います。今日勉強をして、知らない人でもきちんとあいさつするとおたがいが気持ちやうれしくなるからあいさつをしたいと思います。これからきちんとあいさつをします。	さいしょは、あいさつができなかったけど、毎日してくれるのでなぜか口から「お早うございます。」と言ってあいさつができるようになりました。「あいさつのか」って大事なあと、これからはもっとあいさつをしたいと思います。話もいっぱいしたいと思います。	今日勉強して、あいさつのよさと命の大切さがわかりました。これからぼくは、あいさつのかんしやを大切にしていきたいです。お礼・かんしやの気持ち・心をこめて・やさしさの4つを守ってあいさつをしていきたいです。

検証授業 I の児童の感想から

10 成果と今後の課題

【成果】

- 地域素材をもとにした自作資料は、児童の関心を高め、道徳的価値の自覚に効果的であることがわかったこと。
- 児童の感想を活用し、複数時間で資料が持つ内容項目を扱い、道徳の学習を構成することは、児童の考えを深め、徳的行為につなげるために有効なことがわかったこと。

【課題】

- 自作資料作成のための調査や時間の確保を計画的に行うこと。
- 児童の実態に合わせ、実話ではなく物語などにして、より理解させやすくすること。

◎参考文献

- ・小学校学習指導要領解説 道徳編 ・道徳副読本 福岡郷土資料